

Isadora Duncan Dance

イラドラ・ダンカン
(1877-1927)
米国のダンサー。ベルリンとパリ、ロシア革命後のモスクワにダンス学校を創立。20世紀にモダン・ダンスという新しい表現を生み、女性の身体表現そのものを革新したといわれる。ギリシャ風チュニックをまとい裸足で踊った。



Michiyo Sato 大英博物館にて (撮影: 天間美香)

曲目

グレンダール「夏の詩」
ショパン「プレリュード集」
ブラームス「ワルツ集」ほか

大学女性協会主催 初夏のコンサート
未来を拓く自己表現
海・空・風を奏で舞う
イサドラ・ダンカン・ダンス

佐藤 道代 (ダンス) Michiyo Sato



津田塾大学卒業後ロータリー財団奨学金にて留学したニューヨーク大学より修士号及び舞踊教育学科長賞を受賞。自作を日本 (EXPO2005、スーパーカミオカンデ再建祝祭式典)、米国 (国連)、英国 (大英博物館) 等、各地で公演。NY タイムズ紙は「スタイル・内容ともに洗練された作風」と評する。1994年リンカーン・センターにて振付助手。1998年ミュージカル「王様と私」出演。2004年NY ジョイス・ソーホーで日本女性に関する自作品の公演では連日満席となる。イサドラ・ダンカン国際学校芸術監督と共に、ロンドン大英博物館、トロント、デルフィ等でダンカン作品を踊る。2005年 Die Pratzte 観客賞受賞。2007年「イサドラ・ダンカンの舞踊理論とスピリチュアリティ」出版。2011年 NHK「日曜美術館」出演。2012年より福島霊山の小学校で福島らしい自然を踊るボランティア指導を続けている。◆イサドラ・ダンカン国際学校日本主催。(写真 撮影: 伊藤喜一郎)

吉岡 優子 (ピアノ) Yuko Yoshioka



桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。玉置善己氏に師事。同大学附属子供のための音楽教室高崎教室にてピアノとソルフェージュの指導を行いながら演奏活動を行っている。◆ポルトガルの作曲家カルロス・セイシャスの「鍵盤楽器のためのソナタ集」(谷戸基岩編)の校訂作業に参加したのを機に2004年の「出版記念コンサート」(トッパンホール)に出演。2013年6月カワイ表参道パウゼにおいて谷戸氏が講師を務めた「セイシャス・レクチャーコンサート」で演奏。2006年2月「アレンスキー没後100年記念コンサート」(トッパンホール)、2007年8月「女性作曲家音楽祭2007」(杉並公会堂)に出演した。和洋女子大学における小林緑氏のミニコンサートでもたびたび演奏。2013年11月江戸東京博物館ホールにおいてUN Women 東京主催のチャリティコンサート「ポリ・ヌ・ヴィアルドと「うた」」に出演。◆国分寺市内の合唱団「グリーンハーモニー」「くれっしゅ」「青春隊」伴奏ピアニスト。

2015年 6月25日(木)

18:30 開演 18:00 開場

古賀政男音楽博物館 けやきホール

チケット: 一般 / 3500円 学生 / 2000円 全席自由席
お問い合わせ: (一社) 大学女性協会 Tel: 03-3358-2882
お申し込み: Fax: 03-3358-2889 Email: jauw@jauw.org



小田急線 代々木上原駅南口 徒歩 5分